

平成25年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ユークス

コード番号 4334 URL <http://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 品治 康隆

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 平成24年9月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第2四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年1月期第2四半期	567	△19.8	△174	—	31	—	29	—
24年1月期第2四半期	707	△24.2	△399	—	△686	—	△416	—

(注) 包括利益 25年1月期第2四半期 27百万円 (—％) 24年1月期第2四半期 △422百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第2四半期	3.06	—
24年1月期第2四半期	△42.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
25年1月期第2四半期	10,065	2,508	24.9
24年1月期	9,732	2,577	26.5

(参考) 自己資本 25年1月期第2四半期 2,508百万円 24年1月期 2,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年1月期	—	0.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,893	△39.9	216	△64.2	413	108.4	376	△9.2	33.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年1月期2Q	11,096,000 株	24年1月期	11,096,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年1月期2Q	1,397,813 株	24年1月期	1,397,813 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年1月期2Q	9,698,187 株	24年1月期2Q	9,698,266 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかな回復が継続しております。しかしながら世界景気の減速感と、それに伴う金融資本市場への影響を含めたリスクもあり、依然として厳しい状況にあります。

当社に関連するエンタテインメント業界では、ミリオンタイトルを含めた複数のタイトルが好調に推移しており、家庭用ゲーム市場全体を押し上げております。さらに平成24年7月には「ニンテンドー3DS LL」が発売され、年末にかけて新型ハード機「Wii U」や複数の有力タイトルの発売が予定されており、ソフト・ハードともに市場規模の拡大が期待されています。また、ソーシャルゲームやダウンロードコンテンツを含むオンラインゲーム市場は、好調に推移しています。

このような状況のもと、当社グループのデジタルコンテンツ事業におけるゲームソフト分野におきましては、総合格闘技団体Zuffaが開催するUFC(Ultimate Fighting Championship)をモデルにした「UFC Undisputed 3」(プレイステーション3・Xbox 360用)が平成24年2月に海外版、同年3月に国内版が発売されています。

自社ソフトでは、ソーシャルゲーム市場向けに「わんこのじかん」(Mobage(モバゲー)用)を平成24年2月より配信しております。それに加え、平成23年10月よりダウンロード販売を開始しました「REAL STEEL」(Xbox LIVE・PlayStation Network用)が引き続き好調に推移し、収益強化に貢献しております。

新規案件の開発につきましては、ゲームソフト分野、パチンコ・パチスロ分野ともに、順調に進んでおります。また、アメリカで人気急上昇中の女性のみによるフットボールリーグであるLFL(Lingerie Football League)よりライセンス許諾を受け、ゲーム化権を取得しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は567百万円(前年同期比20%減)であります。為替差益が174百万円発生しており経常利益は31百万円(前年同期は経常損失686百万円)、四半期純利益は29百万円(前年同期は四半期純損失416百万円)となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して332百万円増加し10,065百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加637百万円、仕掛品の増加520百万円、受取手形及び売掛金の減少910百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して402百万円増加し7,557百万円となりました。主な要因としては、前受金の増加271百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して69百万円減少し2,508百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては614百万円の資金を獲得(前年同期は1,022百万円の資金の使用)、投資活動においては101百万円の資金を使用(前年同期は23百万円の資金の使用)、財務活動においては25百万円の資金を使用(前年同期は1,104百万円の資金の獲得)いたしました。

以上の結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より637百万円増加し7,895百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年1月期決算短信(平成24年3月9日付公表)において発表しました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,257,717	7,895,702
受取手形及び売掛金	1,084,505	174,070
仕掛品	606,690	1,127,212
その他	152,776	147,405
貸倒引当金	△99	△116
流動資産合計	9,101,590	9,344,275
固定資産		
有形固定資産	94,245	84,804
無形固定資産	11,112	10,388
投資その他の資産	525,666	626,072
固定資産合計	631,023	721,265
資産合計	9,732,614	10,065,540
負債の部		
流動負債		
未払金	175,647	172,214
短期借入金	6,530,000	6,600,000
未払法人税等	7,614	1,982
前受金	262,584	533,947
賞与引当金	71,006	37,849
その他	3,236	102,562
流動負債合計	7,050,088	7,448,555
固定負債		
長期未払金	62,200	62,200
退職給付引当金	42,807	46,341
その他	250	250
固定負債合計	105,257	108,791
負債合計	7,155,345	7,557,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	423,708	423,708
利益剰余金	2,231,346	2,164,040
自己株式	△485,945	△485,945
株主資本合計	2,582,011	2,514,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,760	△4,999
為替換算調整勘定	△1,981	△1,513
その他の包括利益累計額合計	△4,742	△6,512
純資産合計	2,577,269	2,508,193
負債純資産合計	9,732,614	10,065,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
売上高	707,477	567,117
売上原価	543,271	397,568
売上総利益	164,205	169,549
販売費及び一般管理費	564,006	344,236
営業損失(△)	△399,800	△174,686
営業外収益		
受取利息	7,704	12,822
受取配当金	627	592
為替差益	—	174,346
その他	3,736	33,657
営業外収益合計	12,068	221,419
営業外費用		
支払利息	13,434	15,360
為替差損	284,862	—
営業外費用合計	298,296	15,360
経常利益又は経常損失(△)	△686,029	31,372
特別利益		
貸倒引当金戻入額	147	—
償却債権取立益	292	—
固定資産売却益	—	430
特別利益合計	439	430
特別損失		
固定資産除却損	147	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,840	—
特別損失合計	15,987	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△701,577	31,793
法人税等	△285,362	2,117
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△416,214	29,676
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△416,214	29,676

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△416,214	29,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,949	△2,238
為替換算調整勘定	△943	468
その他の包括利益合計	△5,892	△1,770
四半期包括利益	△422,106	27,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△422,106	27,906
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△701,577	31,793
減価償却費	25,318	16,783
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,641	3,534
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,498	△33,204
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△278	17
受取利息及び受取配当金	△8,331	△13,414
支払利息	13,434	15,360
為替差損益(△は益)	285,614	△150,704
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△430
固定資産除却損	147	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,840	—
売上債権の増減額(△は増加)	117,732	910,434
たな卸資産の増減額(△は増加)	△761,441	△520,522
未払金の増減額(△は減少)	△34,723	△3,729
前受金の増減額(△は減少)	△56,060	271,363
その他	139,165	98,626
小計	△996,015	625,916
利息及び配当金の受取額	7,366	11,072
利息の支払額	△13,611	△15,562
法人税等の支払額	△20,537	△10,244
法人税等の還付額	303	3,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,022,495	614,185
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,509	△6,066
無形固定資産の取得による支出	—	△950
有形固定資産の売却による収入	—	1,238
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
短期貸付けによる支出	△5,000	—
短期貸付金の回収による収入	—	5,261
長期貸付けによる支出	△2,494	—
長期貸付金の回収による収入	414	295
差入保証金の回収による収入	110	62
差入保証金の差入による支出	△36	△1,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,516	△101,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,200,000	70,000
配当金の支払額	△95,948	△95,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,104,051	△25,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	△285,939	151,033
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△227,899	637,985
現金及び現金同等物の期首残高	5,533,728	7,257,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,305,828	7,895,702

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注)
	デジタルコンテ ンツ事業	興行事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	265,010	442,467	707,477	—	707,477
セグメント間の内部売 上高又は振替高	425	5,214	5,640	(5,640)	—
計	265,436	447,681	713,118	(5,640)	707,477
セグメント損失(△)	△349,704	△50,096	△399,800	—	△399,800

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)

当社グループの事業は、前連結会計年度末に興行事業を営む新日本プロレスリング株式会社の全株式を譲渡したことにより、第1四半期連結累計期間より、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントとなったため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。